

drupa で歴史的な世界水なし印刷大会

2004年5月12日、drupa 会議棟で開催される「世界水なし印刷大会」は、WPA と日本 WPA、さらに EWPA が一体となって、世界の印刷業者、印刷バイヤーに水なし印刷の高生産性、環境へのやさしさを広く知らしめてくれる。この世界規模の大会では、Best Available Technique(BAT=利用可能な最高の技術)に認知されうる最右翼が水なし印刷との働きかけをする。Oekopol 社は EC 機関で環境保護、資源保護のコンサルティングをしているが、特定グループの方向付け、印刷工業の事業活動の環境への衝撃と規制を議論し、その枠組みを組み上げている。印刷界でのこの努力とあいまって、水なしオフセットでは湿し水を使わないため、ここからの VOC が生ぜず、また、水そのものを除去し、水の無駄使いもない。

会議参加者は最新の水なし印刷技術を、KBA 社、Presstek 社、Sun Chemical 社、Technotrans 社、東レの各メーカーから聞け、水なし印刷での一層の生産性向上、環境遵守に向け一段と高い技術水準への推進へと繋がろう。水洗浄性インキ、水なし UV、水なし版、印刷機の直近の開発状況が分かるが、しかも、枚葉、新聞輪転、ヒートセットオフ輪にまたがるものである。日欧の水なし印刷では生産性、収益性で卓越した実績を持つ印刷会社、水なし 20 年暦の東京の(株)文星閣。デンマーク、ハーニング市の Danapak 社の印刷マネージャー、ヨーゲン・ヤコブセン氏による、水なし印刷での経済性のスピーチ。

英国の Printing World 誌の技術編集長、ロッド・ヘイズ氏は演題「世論の高まりの変革」をスピーチする。

参加者は 150 席で制限されていて、先着登録制となっている。www.waterless.org で登録されたい。

世界水なし印刷会議(WWPC)のスポンサーとして、EPPL E インキ、東レ株式会社、プリントグラフ・ウォータレス、プレステック、テクノトランスが協賛してくれている。



版扱いのコツ

版の傷についての最近の報告では、版は細心の注意で取り扱うことを必須と喚起している。

プリプレス室で

外装の開梱：カッターで外装を開けるときは、まず、側面を最初に開け、頭の蓋を上引張り、水平にカッターを入れる。

カバーフィルムの除去：フィルムをはがすときは、版は平らにして置いていただき、着衣の袖などが版に触れないようにする。

中敷紙：版より小さい中敷紙を使わないこと。版の中に入っている東レの中敷紙を再使用するのが良い。

版上で筆記をしない：版を急ぎで運搬するときなど、ついうっかりと、物を版の上において書き込んだりするが、決してしないでほしい。

印刷室で

機械のそばでの版扱い：機械のところに来た版は中敷紙を入れて垂直に立てかけておくが、保護垂直ラックに立てかける。版は両手で持って持ち上げ、下の版に触らないようにする。版は通り道におかず、不用意な接触事故を避けること。版に傷をつけたと感じたときは、東レ PC-E 版洗浄液を塗布し、欠損部を見つけ出すこと。

新しい Presstek のブランドがデビュー

drupa2004 用の業界紙記者発表で、プレステック社は新しい社名ロゴを発表、プレステック社の複眼ビジネス路線を反映したものだ。

Edward J. Marino (BIO)、プレステック社社長、CIO によると、プレステック社は 2 年前と違い、ファンダメンタルズ面で違う会社となってきた。より強固になり、改善され、技術指向の会社から、市場中心、顧客指向主義の会社へ重心を移している。会社内容は健全で、販売チャンネルを拡充し、次の成長段階に備えている。この新しいブランドはプレステック社の今日と明日をより鮮明に表現している。



プレステック社の新しいロゴは同社の新しいマーケット指向を象徴化している。

新しい社名ロゴはプレステック社の将来路線とあいまって、キャッチフレーズ、「スマートな印刷方法」を強調している。印刷プロは競争激化、商品多様化の市場で差別化を進めるには、プレステックの提供しているものは、そのニーズに理想的に合うものだ。短納期、迅速回転効率、環境対応、印刷工程での全般コストの低減、これらは今日市場で求められているが、その要求に効果的にこたえる印刷機を備えると、プレステックのソリューション、スマートな印刷方法へ行き着く。

「15 年以上もの間、プレステック社は印刷界ではとてつもなく、進んでいる、基本を破壊してまでの新技術を開発してきた。」と、Marino は言う。「将来ともこの役目は今まで以上に続けていこう。プレステック社の複眼路線はわがビジネス、顧客への一層の喚起となり、この新し

いロゴは、プレステック社を革新技术とソリューションを織り交ぜた会社と表現し、将来の印刷サービスプロバイダーの灯台として働こうとしている。」と付け加える。

ブッシュ政権は米国裁判所で反環境的裁判官に囲まれている

30年以上もの間、環境法律は清浄空気法から絶滅種法まで警鐘を鳴らし、恐るべき武器といえるものを活動家や一般市民に与え、環境保護へ駆り立てた。

環境は決して裁判所では優勢ではないが、法廷争議は基本的な防御手段である。ブッシュ政権がこの方法をとると、全ては変わってしまう、と法律アナリスト達は言う。George W. Bush が2001年初頭に現職についてから、連邦裁判所には100以上もの空席となっている。これは異常な数字である。それ以来、彼は職務を満たす候補者を上げて、指名している。批評家は言う、法律を力強く積極支援する裁判官を選択するかわりに、ブッシュの指名候補者は彼のイデオロギーを拡散する試みに当たっているようだ。

大統領が同志的な裁判官を指名するとは普通ではない。そんなに席が空いているので、ブッシュ...彼は保守的な最高裁判所の裁判官、アントニン・スカリアとクラレンス・トーマスを優秀裁判官として引用しているが...政治的気脈の通じるものを裁判所に持ち込むユニークな機会に恵まれている。

連邦政府は法律を施行し、民を守るという能力が問題である、と環境弁護士のグレン・スガメリは言う。「全体の上に立ってどのように判決を導くかの能力である。」

再度、確認するが、連邦裁判官は一生席に座っているものだ。

上院司法委員会によると、3年ほどの指名と確認の後、連邦裁判官、877名の6%、52が空席となっている。約50の指名者が委員会か上院により、確認されて、採択されるのを待っている。27名が今のところ空席で、これらが緊急とされている。

ブッシュは最高裁判所の裁判官をもまた、選ぶ機会に恵まれたと言えよう。少なくとも、1ないし2名の高裁の裁判官が引退する。多くの論争例では5-4の決定で下され、一人の裁判官の交代が...特に、左傾タイプの裁判官、スチーブンス、81歳...裁判所の判定に大きなインパクトを与えよう。

Community Right Council(CRC)、資源防衛会議(NRDC)、地球の友、シェラクラブを含む地球裁判とグリーングループ、その成長母体は多面的な闘争で結合し、ブッシュが厄介視している裁判官が連邦裁判所から排斥されることに戦っている。

保守主義者に言わせると、Pryorへの論争やブッシュ指名者の数は民主党による政治的な大基盤から見るとはるかに少ない、とする。保守的な太平洋司法財団のジム・バーリングはブッシュが故意に、反環境裁判官を採用しようとしていると、反発する。

火気を吸ったりの、右翼の信奉者はいないと、彼は言う。「願望として、そこにいたが、今は見たくはない。」

保守的法律学者、リチャード・エプスタインは、彼の仕事は養子引き取り運動をしているが、わずかな指名者が微視的に見ることでより抵抗できると警告する。

「イデオロギーが重大な問題として、最後に、どの指名者もつかえなくなってしまう。」と彼は言う。

環境保護やその他の先進的グループからの抵抗にかかわらず、多くのブッシュの指名者は遡上には載せる。しかし、上院の民主党はブッシュの論争を挑む指名者と連合することに成功しよ

う。

民主党はミグエル・エストラダの米国上告裁判所の指名権をつぶし、第5次米国巡回上告裁判所に指名された、パトリア・オーエンの昇天を手助けよう。共和党は大統領選の前夜までは上院ではわずかな過半数であったので、政治的口論は終わっていた。プッシュの法的な指名者は...そして、環境法律の将来...すぐに終わりとなるようなものではない。

できごと

オランダのアールテン市、ケンパース印刷会社のクリス・ケンパース氏を歓迎する。同社は長年、水なしを行っている。1989年に水なしを始め、1992年に完全に水なしへ移行した。アレン・ローデスと彼のスタッフに感謝。プリントポイント・オーストラリア社は3月号で紹介した通り、UV水なしを東レ版で水なしで行っている。

世界水なし印刷会議

簡便、手間・コストをかけずに。環境にやさしい水なし印刷。
実証済み、その生産性とその環境対応



2004年5月12日 drupa 会場内コンファレンス・センター

今日、www.waterless.org に登録されたい。

2004年5月5日までは受け付ける。英語、ドイツ語、日本語でスピーチは対応している。世界水なし印刷会議が水なし印刷のBAT認知、ロビー活動の開始の日となる。

世界水なし印刷会議議題

11:00 - 11:20 受付、歓談、参加者の名刺交換、

11:20 - 12:00 軽昼食

12:00 - 12:20 開会と歓迎の挨拶

Arthur W. Lefebvre, executive director, Waterless Printing Association

Detlef Braun, EWPA chairman

12:20 - 12:35 Presentation by Oekopol GmbH, consultant to European Commission

環境保護、資源保全のためのBAT(利用可能な最高技術)欧州委員会・コンサルタント

BATの目指すものは？ 印刷界に関連するその規制と実施の衝撃。

12:35 - 12:55 EWPA 理事 Manfred Hamann 「BATと水なし印刷発展の機会」

12:55 - 13:10 Hartmann Printing Inks 社、Dr.Fritzのプレゼンテーション

- 「水洗浄性インキと VOC 排除・サステナビリティ・環境配慮の印刷の見通し」
- 13:10 – 13:25 e-グラフィックス(株) 社長・鈴木裕氏 「Brand Identity, Visual Identity」
- 13:25 – 13:40 Jeorgen Jacobsen デンマーク・ハーニング市、ダナパック社
「水なし印刷の経済性」
- 13:40 – 13:55 Detlef Braun, EWPA 「水なし印刷で利益向上の機会」
- 13:55 - 14:10 休憩
- 14:10 – 14:25 (株)文星閣・社長・奥継雄氏 「水なし 20 年間の体験談」
- 14:25 – 14:40 Technotrans 社、Harig 氏 「印刷機での熱発生と対処法」
- 14:40 – 15:00 KBA 社のプレゼンテーション「水なし印刷機の技術と将来の市場展望」
- 15:00 – 15:20 東レ株式会社のプレゼンテーション 「水なし印刷の発展展望」
- 15:20 – 15:40 Mr. Stan Najmr, Presstek 社、「水なし DI 版材とイメージング技術」
- 15:40 – 15:55 Mr.Rod Hayes, Printing World Magazine 社・技術編集長、「変化の大波」
- 15:55 – 16:10 休憩、質疑応答
- 16:10 – 16:30 大会宣言採択 (講師と時間帯の変更にご注意ください)

作成 WPA・アーサー・ラフィーバー
日本語作成 日本 WPA・五百旗頭忠男
平成 16 年 4 月 2 日